

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	旅行代理店（従業員）	・愛知万博が開催されることで、現在よりは人の動きが盛んになる。
		旅行代理店（従業員）	・愛知万博の開催効果や、海外旅行の新商品に対する問い合わせが順調であり、昨年以上の旅行需要拡大が期待できる。
		美容室（経営者）	・納得した商品であれば買う傾向が以前より顕著になってきた。
	変わらない	商店街（代表者）	・既に春物商品が多少出てきており、カラー等のトレンドがみえてきているものの、春物コートの最盛期の動きがどうなるかが、まだみえてこない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・昨年12月からの売上の流れからみて、大きくは変わらない。
		百貨店（売場主任）	・春物の動きが、昨年より少し良くなってきている様子がうかがえる。この様子であれば入進学に向けた動きも期待できる。
		スーパー（店長）	・競合各社のチラシの強化が非常に目立っており、そのチラシに左右される客が最近特に目立つようになった。
		スーパー（店長）	・昨年からの販売量の右肩上がり傾向が続いていたが、今月は一転して、9掛けと厳しい数字が出てきている。今後の入進学需要を考えたとしても明るい材料はない。
		スーパー（企画担当）	・相次ぐ自然災害や今後予定される定率減税の見直し等、消費者心理に対するマイナスの影響がある出来事が続いており、消費現場においては消費回復の実感はない。
		コンビニ（エリア担当）	・消費者の食料品支出の減少は毎年続いており、マーケットは縮小している。売上の増加見込みは現状からは有り得ず、道内景気を考えてもこの先の見通しは暗い。
		コンビニ（エリア担当）	・黒手帳といわれる炭鉱離職者への就職促進手当が終了したことなど、悪い要素もあるが、有効求人倍率が増えてきており、釧路管内の仕事も増えてきている現実がある。ただし、継続的に増え続けるかどうかは非常に微妙な段階であり、現状のまま推移するというよりも、今後どのように動くのかは非常に読みづらい状況である。
		衣料品専門店（店長）	・現在の客の状況からみて、2～3月後に良くなるというような話題や素振りが全くみられない。
		衣料品専門店（店長）	・最近、近くにショッピングセンターが開店して売上が下がっているが、通常、こうした場合は単価は変わらないものである。しかしながら、実際には単価が低下しており、今後も単価の低下傾向に歯止めがかからない。
		家電量販店（経営者）	・良くなる材料が見当たらない。12月中旬以降、消費者の動向が急激に変わっており、先行き不透明というのが妥当な状況である。
		乗用車販売店（従業員）	・代替のサイクルを把握する客が増えており、市場としてはとても厳しい状態にある。
		乗用車販売店（営業担当）	・前年実績の比率がアップしない。
		住関連専門店（経営者）	・客は、ニュース等の情報により、消費を控える感じがあり、このままの状態、又は更に後退する懸念がある。
		高級レストラン（スタッフ）	・新規オープンのホテルがあり、ますます客の奪い合いが激烈となる。
		スナック（経営者）	・今月も来客が減ると思ったが、前年を下回ることはなかった。景気が回復すれば、企業で飲食店に来ることも多くなると思うが、今のところはまだ分からない面がある。
		旅行代理店（従業員）	・販売量の前年比が相変わらず悪い。
		観光名所（職員）	・タクシーの空車が依然として目立つ。なかなか改善しない。
		観光名所（役員）	・予約状況等から、2月以降はロープウェイの利用客の回復が見込まれる。
		住宅販売会社（従業員）	・一戸建て住宅の場合はデフレから脱却しなければ売れるようにならない。政策の転換や変更等がなければ今の状態が続く。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街の中心である百貨店の今後の成り行き、12月の火災により空き地化した一画の成り行きなど、マイナスのイメージが大きく影響してくる。

		商店街（代表者）	・客が低価格商品に移行し始めている傾向がみえる。また、買物の間隔が長くなっている傾向が見受けられる。
		コンビニ（エリア担当）	・安い商品を求める動きが一層進んでいる感じがする。消費者の収入が実質的に減少している気配がある。
		家電量販店（地区統括部長）	・競合店の出店もあり、市場環境が更に厳しくなることが予測される。
		高級レストラン（スタッフ）	・3月以降の予約は前年より少なくなっている。
		観光型ホテル（経営者）	・愛知万博の影響を懸念している。国内の遠距離旅行者が減少するのは必至で、集客力のある大手旅行業者からのツアー客送客に期待せざるを得ない。一方、地元客の動きは依然として鈍い。
		観光型ホテル（スタッフ）	・道内客が不振でツアー客も減少している中、昨年の台風災害等から旅行マインドが停滞している。2月から愛知万博の影響が出ることもあり、極めて厳しい環境にある。
		タクシー運転手	・市内の業種は全般に低調のままである。先には新幹線開通の話もあるが、まだ調査費等を議論している段階なので、着工が正式に決定するまではこの状態が続く。
	悪くなる	一般小売店〔土産〕（店員）	・海外の客は、アジアを中心に多くはなっているものの、観光だけで終わってなかなか購買までつながらず、4月末に南千歳駅の裏にアウトレットモールができることで、団体ツアーのバスがそこへ立ち寄り、空港売店への影響が懸念される。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（支店長）	・今月の落ち込みが大きいと、相対的にはアップする。ただし、絶対量でみた場合、特に第3四半期と比べると、数量の面ではさほど伸びていないのではないかと考えられる。また、荷主の業界によってもばらつきが大きく、道内需要よりも、本州又は中国等に関連した荷主が道内景気のけん引役となっている。
		通信業（営業担当）	・映像関係など、少し先を見据えたビジネスの動きが活発化しており、その動く資金の大きさ、波及効果から少しは良くなるような感じを受けている。
		その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・鉄鋼に関連する副資材の再値上げが予想され、ユーザーの在庫積み増しなど駆け込み需要が見込まれる。また材料の不足感が浸透しており、ユーザーとしても値上げは認めざるを得ず、結果的には売上げが期待できる。
変わらない		食料品製造業（団体役員）	・4月からの新年度の景気に期待するものの、地方の経済と雇用環境の状況は変わらず推移する。また、当地の大企業の撤退や工場閉鎖などがあり、地方の景気状況は芳しくない。
		家具製造業（経営者）	・全体としては不透明な景気ではある。しかし、本物志向は根強く、高級品の市場には底堅いものがある。
		金属製品製造業（統括）	・需要環境は現時点と大きく改善はしない。
		金融業（企画担当）	・雇用環境は幾分改善されているが、所得環境は厳しさが続くものと考えられる。総じて明るい材料に乏しく、横ばい状態と見込まれる。
		その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・来年度に期待できるような長期的な案件が少ない。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・地区の責任者会議で情報報告を受けたが、機械の出方が非常に鈍く、特に道東方面の機械がほとんど動いていない。この状況は2～3か月続く。
		やや悪くなる	輸送業（営業担当）
	悪くなる	司法書士	・先行きに不安のある企業は、余力のあるうちに廃業するケースが増えてきている。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・勤務先は旭川であるが申込は札幌からというような、地元以外からの求人依頼が増加傾向にある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・建設業関連の求人が伸びてきている。また、昨年と比べてデパート、スーパーの求人伸び始めているほか、地方では大型商業施設が数店出店するといった動きもみられる。
	学校〔大学〕（就職担当）	・2月に学内で開催する会社説明会では、昨年度と比較して約2倍の企業が参加する。また、就職情報誌主催の合同企業説明会においても、多数の企業が参加している。会社訪問して人事担当者の説明を聞いても、採用活動はおう盛である。	

変わらない	求人情報誌製作会社 (編集者)	・多少ではあるが、本州方面からの製造業関連の比率が高まっている。ただし、地元企業の求人受理件数は横ばい又は若干下がっている。
	求人情報誌製作会社 (編集者)	・前年に比べると求人件数は10～20%の伸びを示しているが、求人企業の数が増しているというよりも、採用に至らず同一企業が再度求人広告を出稿するリピート求人が増えてきている。したがって、今後、必ずしも景気が上向きになるとは一概にいけない状況であると感じている。
	職業安定所(職員)	・小売業で求人の増加がみられるが、製造業、サービス業の求人が減少しており、全体的には横ばい傾向で推移する。
	職業安定所(職員)	・増員によるパート求人は見受けられるが、正規型の求人は欠員補充であり、求人数の伸び幅も小さい。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-